

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	百貨店（営業担当）	・今期は前年比増が続いている。セールスの客足もよく、今後も上向きで推移する。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・夏物の値段が下がり、販売量が多くなる。客の流れが多くなれば、催物も多くなり、売上増が期待できる。
		スーパー（経理担当）	・競合店の出店予定が今後も相次ぎ、限られたパイの奪い合いが続きそうである。
		一般レストラン（経営者）	・3か月後は若干涼しさも戻ってきて秋向きの商品も出てくる。新規店舗を出したので販売量も伸び、各種イベントの売上も上がってくる。
		旅行代理店（従業員）	・海外の旅行申込み人数は前年の70%強まで戻ってきており、国内旅行は120%台で推移している。
	通信会社（企画担当）	・新サービス、新商品、テレビCM等を膨大に出していることで、販売力が上向く。	
変わらない		スーパー（店長）	・入店客数は堅調だが、購買に関して客がシビアになり、また高額商品（輸入品コーナーの時計やハンドバック等）の販売個数、単価が落ちている。総合的には変わらないか下がってくる。
		コンビニ（エリア担当）	・酒類販売の規制緩和による売上増も考えられるが、現在の経済状況や景況感から考えると全体的な売上は望めない。
		自動車備品販売店（従業員）	・県内で売上を伸ばしている企業がほとんど無く、ボーナスもあてにならない。消費の低下は今後も続く。
		スナック（経営者）	・景気回復はまだまだ先だろうというお客様の話をよく聞く。
		観光型ホテル（スタッフ）	・11月までの特に個人催事である披露宴が、前年を上回る件数・金額で推移している。しかし、宿泊に関しては長崎への観光客が減少傾向のため、先が読めない。総合的には変わらない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊、レストラン、宴会すべてについて、予約の状況が改善するとは思えない。
		旅行代理店（業務担当）	・1か月前後先の申込は前年と同じレベルに戻りつつあるが、2、3か月以上先の申込の動きは悪い。
		ゴルフ場（従業員）	・業種によっては上向いているところもあるが、サービス業は厳しい状況である。先行き不安から、娯楽に対する消費が減少する傾向にある。
		美容室（経営者）	・今後2、3か月先は、行事や景気回復策がない。今と同じ悪い状況で今後も推移する。
		住宅販売会社（従業員）	・夏休みに向けてフェア等を実施しているが客数が伸びない。新規の掘り起こしが出来ない状況で苦戦している。この傾向が今後も続く。
		住宅販売会社（従業員）	・金利上昇により8月以降に受注の駆け込みが期待できるが、今のところ客の反応は鈍い。
やや悪くなる		商店街（代表者）	・中心商店街の近くにオープンした大型商業施設の影響が出てきた。また、近隣の再開発ビルに入っていたスーパーが撤退し、来街者が非常に少なくなっている。先行きが懸念される。
		商店街（代表者）	・9月初旬、約2キロ圏内に大型商業施設がオープンする予定であり、中心商店街は危機感を抱いている。先行きが懸念される。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・マスコミは景気が上向いたと報道しているが、国内の小売流通関係では回復の兆しが見られない。逆にマイナス要因の方が多いため、今後はますます厳しくなっていく。
		百貨店（営業担当）	・来店客数が恒常的に少なくなっている。歯止めをかけたという施策はしているが、急激な回復は難しい。
		スーパー（総務担当）	・ここ数か月は、食品は前年比並みで推移しているが、気温に影響されやすい衣料品、住居用品等が不調である。今後もこのような状況が続く。商品の単価も安い物が多く、客数が伸びてこない限り、売上増は見込めない。
		住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン減税の延長や住宅融資枠引上げ等の対策は打ち出されているが、いずれも来年度からの施策でありその効果は不透明である。このまま住宅需要が低迷し続ければ、住宅メーカーの生き残り競争に拍車がかかり、より一層の人員費圧縮に努めなければならない。

	悪くなる	百貨店（販売促進担当）	・政界の不安定さに伴い、再度、経済状況が悪化する恐れがある。今後、秋・冬の商材は高額商品（コートやブルゾン等）が多くなるが、そのような状況にマーケットが反応して買換え需要等が減少する恐れがある。	
		美容室（経営者）	・夏休みや盆で売上増が見込める7月でさえも売上増とはなっていない。3か月先は大きな行事がないため、さらに悪くなる。	
企業 動向 関連	良くなる			
	やや良くなる	精密機械器具製造業（経営者）	・コストダウンの要求はさらに強くなりそうだが、受注自体は増えそうである。	
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・今まで注文のなかつた製品等の注文が多く入っており、9月頃までは忙しくなる。	
		広告代理店（従業員）	・広告の受注量が前年比微増である。広告主の話では、現在の出稿量は落とさないとのことであり、自然増を加えらねばならずばかり売上が増加する。	
		経営コンサルタント	・不安材料が出尽くし、今後は若干良くなってくるという声が聞かれる。8月以降天気が回復すれば販売量が戻り、回復が見込める。	
変わらない		電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関連、液晶関連、半導体装置関連からはある程度の受注が確保されているが、先行きに対しての大手企業の見解にばらつきがあり、多少不安が残る。	
		輸送業（総務担当）	・荷動きが少ない状態で安定している。しばらくはこのままの状態が続く。	
		広告代理店（従業員）	・長崎ゆめ総体の開催で土産品、宿泊等に少し明るいムードが出ているが、これが持続するかは疑問である。	
		経営コンサルタント	・企業再建に関する案件が多く、この傾向は今後も続く。	
	やや悪くなる		農林水産業（従業者）	・景気、消費ともに厳しい状況である。また、食品関連の輸送業でも、リストラや給料減が続いている。
			鉄鋼業（経営者）	・受注量が減少傾向にあり、メーカーは減産を余儀なくされている。また、原料等のコストアップ要因が多くあり、2、3か月後には採算が悪化しそうである。
			建設業（総務担当）	・公共工事の発注が依然として少なく、1件当たりの発注額も低下している。民間工事の受注増も期待できず、先行きが不安である。
			通信業（職員）	・民間顧客を開拓する量よりも、自治体の案件の落ち込みが大きいと予想され、厳しい状況が続く。
悪くなる	経営コンサルタント	・酒屋の中には、酒類取扱いの規制緩和による販売店の増加を不安に感じ、辞めたいという意向を示す店もある。		
雇用 関連	良くなる	-	-	
	やや良くなる	職業安定所（職員）	・事業主都合離職者が減少傾向にあり、また新規求人数も3か月連続で前年を上回っている。今後は横ばい、もしくは上向きで推移する。	
		民間職業紹介機関（支店長）	・顧客の業種・職種・地域によってかなりの差があるものの、上昇傾向にある分野（半導体・エレクトロニクスの一部、インターネット業界、事務・コールセンター等）は上期後半から下期にかけても期待が持てる。ただし、価格の下げ圧力は依然強く、また求人はあるものの、成約するかどうかについては、発注側の慎重姿勢は変わらない。	
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・高速ブロードバンド加入キャンペーンを昨年末より請け負っているが、この夏で終了する予定である。その特需を埋め合わせる要因が見当たらない。	
	やや悪くなる			
	悪くなる	-	-	